



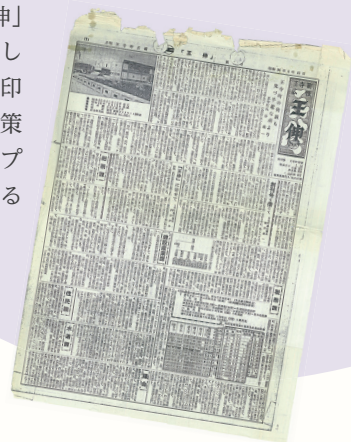
役場庁舎が図書館に

昭和 46（1971）年 3 月に今の役場庁舎が新築されたあと、昭和 11（1936）年建築の木造旧庁舎は図書館として利用されることになり、昭和 47（1972）年 8 月に王寺町立図書館が開館しました。こどもたちが熱心に本を読んでいます。
[昭和 47（1972）年撮影]



「王伸」第 1 号の登場は…？

役場庁舎の完成から 25 年後の昭和 36（1961）年 6 月、町広報紙「王伸」の記念すべき第 1 号が発行されました。B4 サイズ 1 枚の両面刷りで印刷された当時の王伸には、町の施策やイベント情報の他、役場職員のプロフィールを面白おかしく紹介するコーナーもありました。



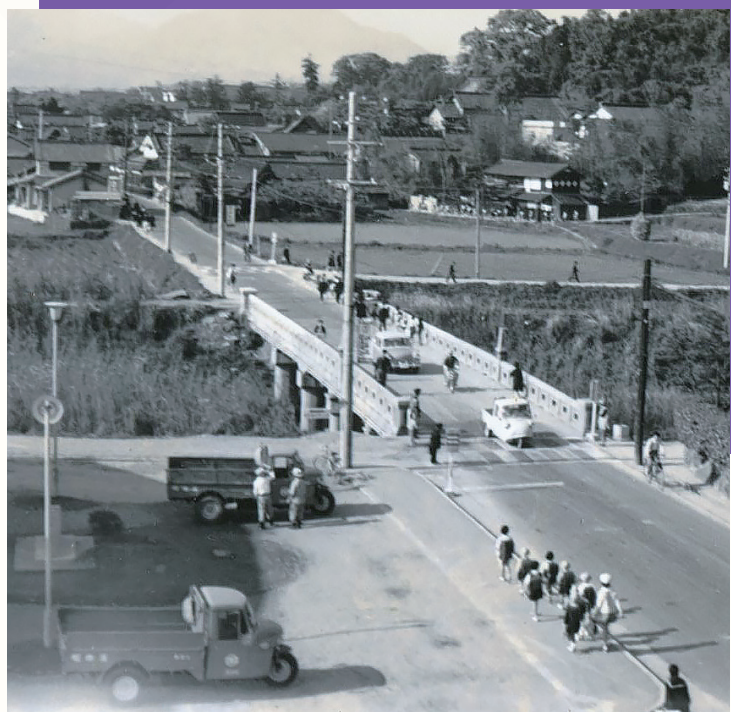
町花・町木

王寺町の町花のさつき・町木の梅は、住民アンケートにより選ばれました。ほのぼのとした美しさが魅力のさつき、町制施行日である 2 月頃、春いちばんに花開く梅は、どちらも町花・町木として、進展し続ける王寺町にぴったりです。



役場前の風景

達磨橋、さらにその南側の風景が写されています。小学校へ登校する児童の姿や、颯爽と走るオート三輪が見えています。道路の広さが今と違います。
[昭和 39（1964）年撮影]



新・王寺町役場の完成

王寺駅ができて住む人が増え、王寺村から王寺町になると、王寺小学校にあった役場では狭くなりました。そこで、新しく役場庁舎が建てられることになり、昭和 11（1936）年 11 月に完成しました。それが今の王寺町役場の始まりです。場所は、王寺小学校の敷地から、駅に近くて今の国道 25 号に接するところに移りました。完成した庁舎は、とてもモダンで格好いい建物でした。大正 15（1926）年の町制施行からちょうど 10 年。町の顔にふさわしい重厚な役場庁舎が完成しました。



移転当初の王寺町役場

新しく役場が建てられることになったのは、葛下川に架かる達磨橋の北側です。
[昭和 11（1936）年撮影]

王寺町役場

装い新たに

